事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 11 日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人基山こどもねっと
（2）事業名　：「基山町に於ける発達障がいを持つ子供たちへの包括的学習サポート事業
（3）事業実施期間：2019 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
（4）資金分配団体名：公益財団法人佐賀未来創造基金

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☑　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。 2022 年度に初めて作成したため

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 2023 年 6 月予定 相浦圭太氏（税理士）
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☑ はい ／ □ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	なし	
広報制作物等	なし	
報告書等	あり	報告書を作成

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

助成による事業から派生してスクールソーシャルワーカーの方たちと新たに始めた不登校の親子の支援活動の中で、保護者の話や子どもたちの様子から、「多くの子供達が困難を抱えている」実情を知ることができた。また、コロナ禍の影響もあり経済的に困難を抱えている子育て世帯への支援のかつ移動も行うことで、地域で包括的に子どもが育つための仕組みが必要だと感じています。継続してこの課題に向き合って行っていきたいと考えています。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

【学習センター事業】
学校に行くことに苦手意識持っていたり、発達に障がいがあったりする中学生や、インクルーシブな環境で勉強したい生徒の学習支援教室。保護者、地域の大人が講師となり「勉強の技術」という教授法を使った国語を楽しみながら学ぶプログラム。
子どもの学習支援だけでなく、地域の大人のコミュニティ作りも目的に実施。

【個別の学習支援「まなびば」】
コロナ禍で、WEB 会議システムを用いた個別指導を実施。公民館や学校に子どもたちは、週に１回、教室にやって来る。１人１台の端末で全国にいる講師とつなぎ１時間の授業を実施。教材は生徒の教科書や宿題など「児童生徒が学びたいことを自分で決めて」行う。講師が教えることより、「生徒がわからないことを生徒と講師が一緒に悩み、考える」ことを大切に実施。

【未就学児のインクルーシブな環境の中での発達・学習支援】
基山町内の年長の園児（希望者全員）に保育時間内に、保育士と一緒に音楽に合わせて体を動かす活動を通して、子どもの「運動神経」と「感覚神経」そして「脳中枢神経」を発達させることが出来るプログラム。

【就学前準備プログラム】
基山町の子育て施策である「ピカピカの１年生プロジェクト」のひとつとして４才児就学準事業との接続したプログラム
「全員が笑顔で学校に行くことができる」そのために「４０分、ストレスなくリラックスして座ることができるような状態」になるための就学前準備が目的。自分の名前の一文字を選び粘土で字を作ることで楽しく学ぶ体験を実施。

【６園の情報交換会】
基山町内にある、６つのこども園・保育園・幼稚園の保育士と教諭に集まってもらい
■第一部　講義
就学前プログラムの説明と臨床心理士による「子どもの発達について」の講義を実施
■第二部　座談会
保育士同士が日頃「工夫していること」「悩み」などを座談会形式で話し合う場を基山町の子ども課と共催。
町全体で子どもを育てるためのネットワーク作りのためのきっかけになる機会の提供を目的に実施。